

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

## 平成27年度病害虫防除情報第5号

果樹カメムシ類の発生状況についてお知らせします。  
各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

### 果樹カメムシ類の発生量が多くなっています。 今後の発生状況に注意し、適期防除に努めましょう。

1. 作物名 果樹全般
2. 病害虫名 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
3. 発生状況

#### 1) チャバネアオカメムシ

県内3か所に設置しているフェロモントラップの誘殺数は7月第2半旬から急増しており、7月第2半旬から第3半旬までの総誘殺数は、都農町で3058頭（平年104頭）、延岡で555頭（平年55頭）であり、平年より多い（図1）。

県内5か所に設置している予察灯への誘殺数は同じく7月第2半旬頃から増加している所が多い。特に、延岡市では7月第2半旬から第3半旬までの総誘殺数は183頭（平年0頭）と平年に比べ多くなっている（図2）。

#### 2) ツヤアオカメムシ

フェロモントラップでの誘殺数は平年並である（図3）。予察灯では一部地域で誘殺数が7月第2半旬から増加傾向であるが、現時点では平年並である。

3) 平年は、8月中旬頃から園地への飛来が見られるが、本年は、現時点で既に一部園地で飛来が確認されている。

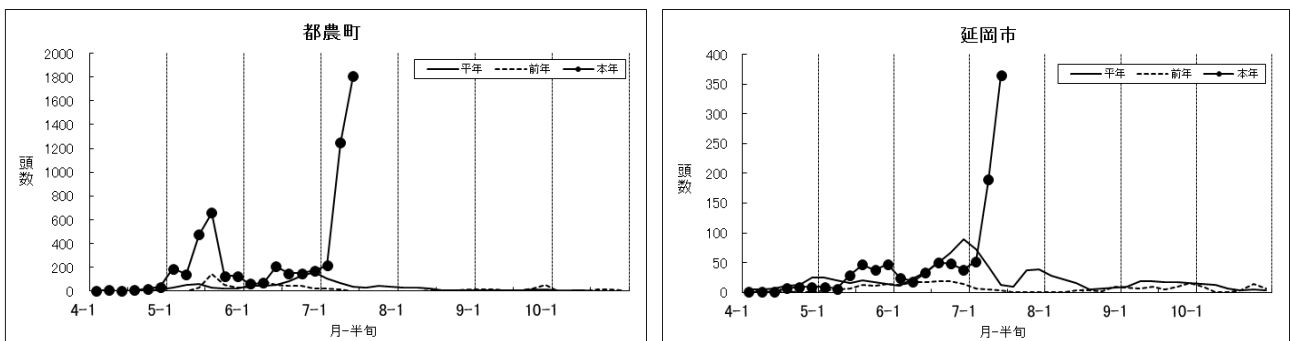
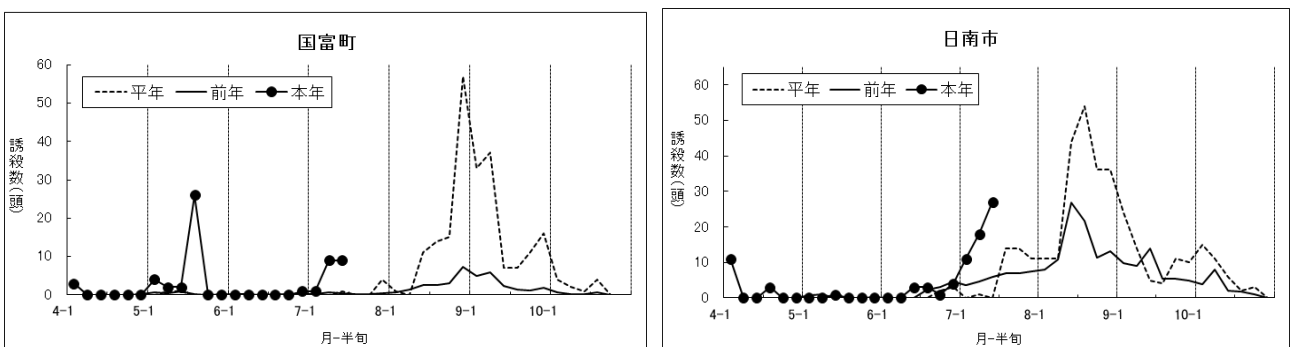


図1 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ誘殺状況



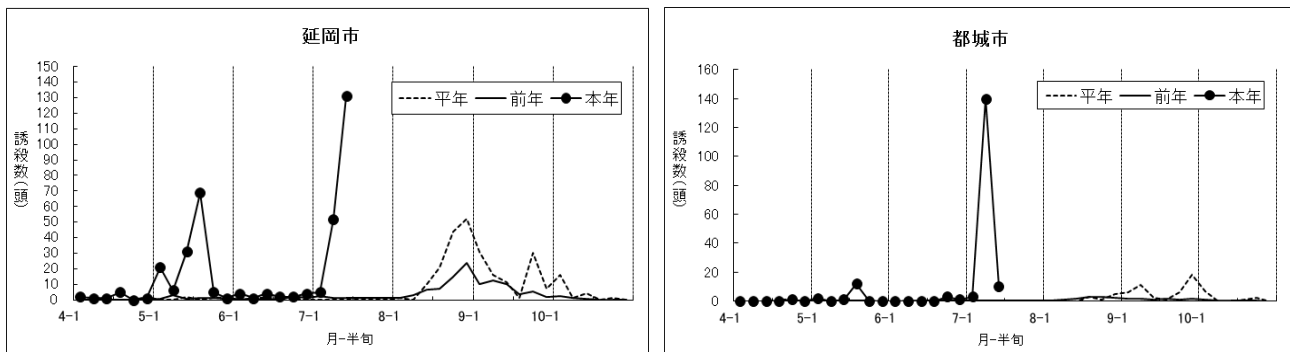


図2 予察灯におけるチャバネアオカメムシ誘殺状況

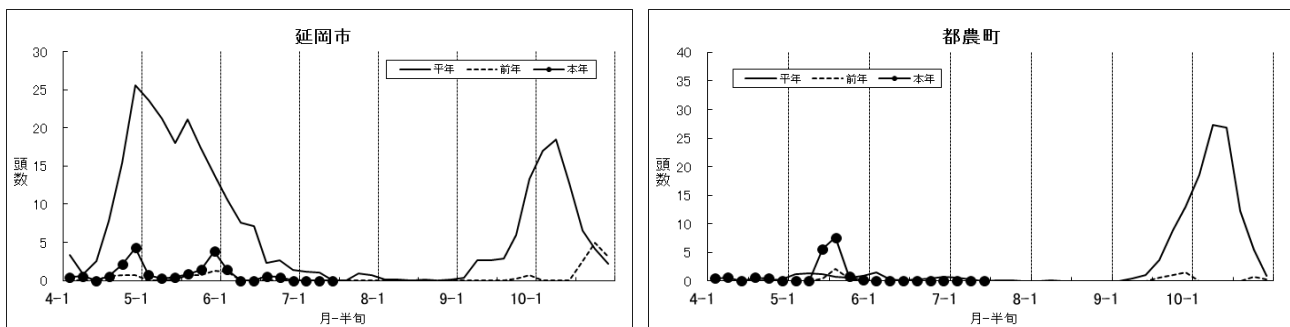


図3 フェロモントラップにおけるツヤアオカメムシ誘殺状況

#### 4. 防除上の注意

- 1) 飛来時期や飛来量は園地によって異なるため、園内外の見回りを徹底し、飛来が見られたら直ちに防除を実施する。
- 2) 果樹園に侵入したカメムシは集合フェロモンで同種を大量に誘引し被害を拡大させるおそれがあるので十分注意する。
- 3) 飛来初期には比較的残効の長い合成ピレスロイド系薬剤やネオニコチノイド系薬剤で防除を行うと効果的である。ただし、合成ピレスロイド系薬剤を連用すると、ハダニ類の発生を助長する可能性があるので注意する。
- 4) 収穫中もしくは収穫時期が近い品目については、農薬の使用回数や収穫前日数に注意し防除を行う。
- 5) 台風通過後は果樹園への飛来が急増することがあるので特に注意する。

#### 5. その他

- 1) その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、病害虫防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。
- 2) 農薬の使用については、ラベル表示の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守する等厳重な注意を払うとともに危害防止に努めましょう。また、周辺作物の栽培状況等に留意し、地域全体で農薬のドリフト防止に努めましょう。

#### 《連絡先》

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 若杉

TEL:0985-73-6670 Fax:0985-73-2127

ホームページ: <http://www.jppn.ne.jp/miyazaki>

E-mail: [byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp](mailto:byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp)